

**授業概要**

財務諸表は、貸借対照表や損益計算書といった会計報告書の総称である。財務諸表論といった場合、一般に、制度の下で公表される財務諸表を対象とする。したがって、財務諸表が伝える内容は、財務諸表の利用者の関心に適ったものでなければならない。また、財務諸表が伝える内容は、企業の経済活動を記録したものであり、その記録内容を適切に表示しなければならない。そして、その内容は、一定のルールに従った記録や表示に基づくものである。したがって、財務諸表にかかわる法規や会計基準、具体的な経済活動とその会計処理について、ⅠとⅡに内容を分けて講義する。

**授業計画**

第1回	貸借対照表と損益計算書
第2回	損益計算の意義と分類
第3回	損益計算の諸原則
第4回	営業収益
第5回	営業費用
第6回	営業外収益・費用と特別利益・損失
第7回	財務諸表の意義と種類
第8回	財務諸表の作成方法
第9回	注記事項
第10回	連結会計～連結の範囲
第11回	連結会計～資本連結
第12回	連結会計～未実現利益の相殺消去
第13回	包括利益
第14回	企業結合と企業分離
第15回	まとめ
第16回	定期試験

※ 内容は目安であるため、内容が前後したり、複数回にわたることがある。

**到達目標**

- ・行われている会計処理の背景にある考え方を知ることができる。
- ・開示されている財務諸表の概略を理解できる。

**履修上の注意**

- ・公表する財務諸表を対象とした授業なので、簿記検定の範囲でいえば商業簿記2級以上の内容が含まれる。1年次から登録が可能である理由は、入学前から簿記会計にかかわる学習経験者がいるためであり、学習経験者以外は、初級簿記、中級簿記を履修した後の登録が望ましい。

**予習・復習**

- ・予習：テキストの下読み。
- ・復習：授業内容を文章でまとめるための準備。

**評価方法**

- ・平常点 30%程度、定期試験（筆記）70%程度の配分を予定している。（平常点はほぼ毎回の授業中の提出物。）
- ・規定の出席回数を満たしていない場合には、原則として、単位を認定しない。

**テキスト**

- ・教科書名：新版 現代会計学<第3版>
- ・著者名：新井清光・川村義則
- ・出版社名：中央経済社
- ・出版年 (ISBN)： ISBN：978-4-502-34641-5

なお、頻繁に改訂されるので、最新版を用意すること。授業「財務諸表論Ⅰ」でも使用する。